

第4次中期事業計画

2023～2027年度

 学校法人 兵庫医科大学

I	はじめに	3
II	建学の精神	4
III	ユニバーシティ・アイデンティティ(UI)	5
IV	学校法人兵庫医科大学の中期事業計画	6
V	第4次中期事業計画	7
	教育	8
	研究	12
	診療	16
	社会貢献	23

兵庫医科大学は、1972年に開学し、4学部4研究科を擁する医系総合大学です。大学病院や健康医学クリニックなどの先進的施設を備え、高度な医療専門職者の育成を通して社会に貢献できるよう努めています。

このたび、2023～2027年度の5年間を対象とする第4次中期事業計画を策定しました。学校教育・医療を取り巻く環境は、18歳人口の減少や人生100年時代の到来などにより大きく変化しています。創設者の森村茂樹が掲げた建学の精神を継承しつつ、さらなる発展を続けていくため、第4次中期事業計画では、未来を切り拓く教育・研究・診療の創造に挑戦し、広く社会に貢献する医系総合大学を目指す姿として掲げます。

この目指す姿に基づき、ロゴマークに込められた「教育」「研究」「診療」「社会貢献」の4領域にて中期事業計画を策定しました。単年度事業計画においても中期事業計画を具現化し、着実に遂行してまいります。

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い
科学的理解



学校法人兵庫医科大学
創設者 森村 茂樹

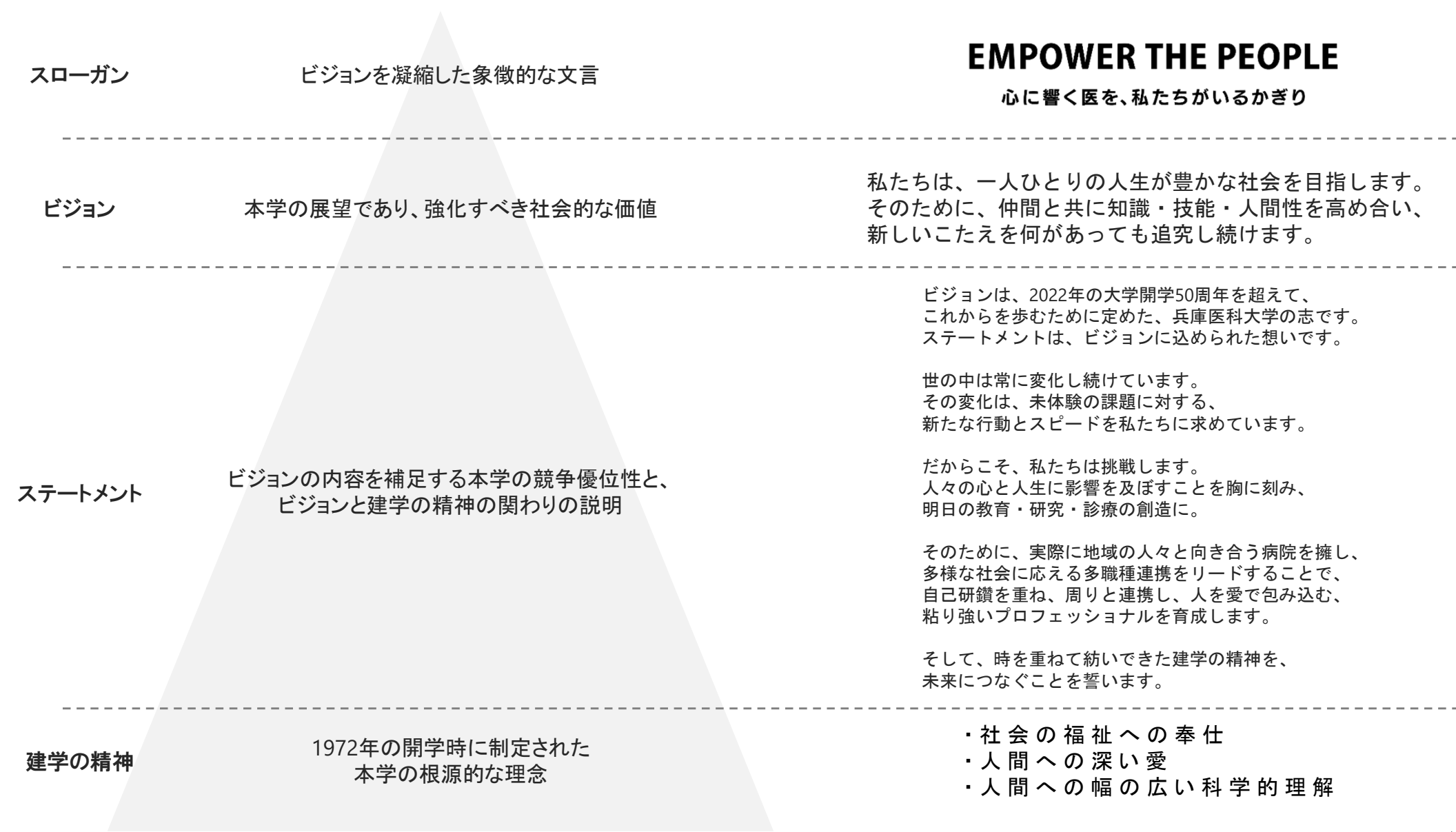
人間とその社会、その進展と安定の一つの支点は、保健医療である。ことに、急速に開発せられつつある現代の日本とその社会は、高い水準の医学と医療を必要としている。而して、これらの基礎となるものは、高い水準の医学教育と医学研究である。ここに兵庫医科大学創設の理由が存する。

兵庫医科大学は、この社会の必要に即応し、これを基盤として創立せられた。社会の内に芽ばえた。社会の手で、社会の力によって創立せられたのである。即ち、兵庫医科大学は、社会のために、その開発に貢献するために創られた最高学府である。

人類社会の内に、そのために、それによって創られたこの兵庫医科大学は、当然のこととして社会に向って開かれた大学である。また、未来に向っても大きく開かれていなければならない。医学の教育と研究は、大きく豊かな未来を有しているからである。

社会と未来に大きく開かれた兵庫医科大学は、三つの大きな礎石の上に据えられている。即ち、社会の福祉への奉仕と、人間への深い愛と、人間への幅の広い科学的理解である。奉仕と、愛と、科学の三つの精神、これがわが兵庫医科大学の礎石である。

かくして兵庫医科大学は、社会と未来とに向い大きく開かれた優れた医家と医学者を世に送ることができるのである。



EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり

私たちは、一人ひとりの人生が豊かな社会を目指します。
そのために、仲間と共に知識・技能・人間性を高め合い、
新しいこたえを何があっても追究し続けます。

ビジョンは、2022年の大学開学50周年を超えて、
これからを歩むために定めた、兵庫医科大学の志です。
ステートメントは、ビジョンに込められた想いです。

世の中は常に変化し続けています。
その変化は、未体験の課題に対する、
新たな行動とスピードを私たちに求めています。

だからこそ、私たちは挑戦します。
人々の心と人生に影響を及ぼすことを胸に刻み、
明日の教育・研究・診療の創造に。

そのために、実際に地域の人々と向き合う病院を擁し、
多様な社会に応える多職種連携をリードすることで、
自己研鑽を重ね、周りと連携し、人を愛で包み込む、
粘り強いプロフェッショナルを育成します。

そして、時を重ねて紡いできた建学の精神を、
未来につなぐことを誓います。

- ・ 社会の福祉への奉仕
- ・ 人間への深い愛
- ・ 人間への幅の広い科学的理解

第4次

(2023－2027)

EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり

未来を切り拓く
教育・研究・診療の創造に挑戦し、
広く社会に貢献する医系総合大学

第3次

(2018－2022)

21世紀に即した医学・医療の持続的な展開と、
それらを担いうる高質の医療人の育成を使命とする医療総合大学

2022年度

兵庫医科大学と兵庫医療大学が統合
4学部4研究科の新生兵庫医科大学が始動

2018年度

兵庫医科大学 教育研究棟運用開始

第2次

(2013－2017)

社会から信頼されチーム医療を実践できる医療人の育成と
キャリア向上を生涯にわたりサポートする医療総合大学

2013年度

兵庫医科大学病院
急性医療総合センター開設

第1次

(2006－2012)

建学の精神と医の倫理に則り、全人的医療を実践できる優
秀な医療人を育成し、医学の進展に役立つ世界的な研究
を推進するとともに、安全で質の高い医療を提供すること
で社会に貢献する

2007年度

兵庫医療大学開学

第4次中期事業計画[全体構成]

建学の精神

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目指す姿

EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり

未来を切り拓く教育・研究・診療の創造に挑戦し、広く社会に貢献する医系総合大学

教育

プロフェッショナルizm教育と
多職種連携教育により
自律的で未来志向の医療人を育成する

- 自律的なプロフェッショナル人材の輩出
- IPE(多職種連携教育)による次世代の医療を担う人材の養成
- 入学志願・入職競争力の維持・拡大と質の高い進路の実現

研究

医学研究を志す高い意識を醸成し、
医系総合大学の強みを活かした
新たな価値の創造に挑戦する

- 医療の変革を目指す新たな価値の創造への挑戦
- 次世代を担う高いアカデミックマインドを持った若き医療人の育成
- 独創的な学術研究を追求するための研究基盤の充実

診療

One Teamで生き生きと働き、
社会に信頼される
安全で質の高い医療を目指す

- 質の高い医療の実現
- 新病院棟建設の推進と財務基盤の確立
- 地域及びキャンパス間における連携体制の強化
- 新たな働き方の推進

社会貢献

教育・研究・診療の成果を還元することで、人々や社会に活力を与える

- リカレント教育・生涯学習・ダイバーシティ推進の機会の提供

- 研究成果のアウトリーチ活動強化

- 地域における災害拠点病院機能の充実

経営基盤(人材育成・財務基盤・ガバナンス体制)の強化

教育

戦略① 自律的なプロフェSSIONAL人材の輩出

戦略目標(KGI)

学生、教職員、卒業生の
「共有ビジョン」を持つソサイエティ構築

学生個々人の人生目標の設定

研修病院や就職先での
本学卒業生の評価改善

業績評価指標(KPI)・
目標数値

学修目標達成度の評価
(ディプロマサプリメント)(全学部)

2023年度の評価を基準に
2027年度にポジティブ評価20%増加

兵庫医科大学病院・ささやま医療センターに
勤務する卒業生への360度評価(全学部)

2023年度の評価を基準に
2027年度にポジティブ評価20%増加

実行施策

ICTを活用した
新たなアクティブラーニングの推進

全学部生の兵庫医科大学病院での
臨床実習実施

ピア評価の実施

プロフェSSIONALイズム講義充実

ワークショップ形式教育の導入

学生個々人の 大学 4 年間(または 6 年間)
計画作成、キャリア未来年表の作成

360度評価の実施と
改善活動の実施

実行部署 学部、病院(卒後研修室)、臨床教育統括センター、大学事務部、病院事務部

戦略②

IPE(多職種連携教育)による次世代の医療を担う人材の養成

戦略目標(KGI)

IPE/IPW実践に向けた
意識・コミュニケーションスキルの向上

業績評価指標(KPI)・
目標数値

卒業時アンケート
IPE（多職種連携教育）項目の評価
（全学部）

2023年度の評価を基準に
2027年度にポジティブ評価20%増加

実行施策

- 多職種連携総合臨床実習の充実
（科目化・単位化による
実施週数・参加者数の増加）
- 学部間ならびに大学・病院間の
教育交流活発化

実行部署

学部、兵庫医科大学病院（診療部・中央診療施設・中央部門）、
ささやま医療センター、臨床教育統括センター、大学事務部、篠山事務部

戦略③

入学志願・入職競争力の維持・拡大と質の高い進路の実現

戦略目標(KGI)

- 安定的な志願者の確保
- ストレート卒業率・国家資格取得率向上
- 卒業生進路の多様化
- 優秀な若手人材の確保

業績評価指標(KPI)・
目標数値

- 志願者数(全学部)
2023年度入試を基準に 2028年度入試で達成
薬学部: 20%増加
医・看護・リハビリテーション学部: 100%維持
- 国家試験合格率(新卒)(全学部)
毎年度達成
医学部: 95% 薬学部: 全国平均を上回る水準
看護・リハビリテーション学部: 100%
- 卒業時アンケート(全学部)
就職・進学などの満足度に関する項目の評価
2023年度の評価を基準に
2027年度にポジティブ評価20%増
- 基本的臨床能力評価試験(JAMEP)
参加者数・成績(医学部)
2023年度の評価を基準に2027年度に20%改善
- 初期研修応募者(医学部)
毎年度 応募者前年度比10%増加
- 成績上位者の研修医採用・看護師採用数
(医学部・看護学部)
2027年度に達成
研修医採用: Aクラスの50%を採用
看護師採用: 成績上位者のうち20%を採用

実行施策

- 社会のトレンドに即した
学生募集戦略の見直しと強化
- 習熟度別／能力別クラス編成と支援
- 総合的科目／試験の導入
- 臨床教育統括センター・
キャリアデザインセンターによる
卒後教育・キャリア支援強化
- 臨床実習・卒後研修の改善

実行部署

学部、病院(卒後研修室)、臨床教育統括センター、アドミッション・センター、薬学教育センター、大学事務部、病院事務部

研究

戦略①

医療の変革を目指す新たな価値の創造への挑戦

戦略目標(KGI)

活発な研究の実施と
質の高い研究成果の創出

活発な連携
(学内、産学、大学間などの連携)

業績評価指標(KPI)・
目標数値

受託・共同研究の実施件数※
過去3年平均:5年目で1年目の10%増
*当該年度実施中の契約プロジェクト件数

外部資金(科研費・AMED)の獲得件数
過去3年平均:5年目で1年目の10%増

論文発表数
(Web of Scienceなどデータベースを基に
全論文数、IF5以上の論文数)
過去3年平均:5年目で1年目の10%増

実行施策

自由な発想や臨床現場の課題・ニーズを基に
異分野連携を図り、新規研究テーマの創出や
産学連携に繋げる

学内連携の機会を創出し
共同研究に繋げる

重点研究テーマの支援により
本学のブランドとなる研究を発展させる

競争的資金の
組織的獲得推進施策を実施する

研究成果・研究シーズなどの情報を
積極的に発信し、大学の認知度を高める

実行部署

学部、病院(臨床研究支援センター)、
社会学連携・研究推進センター(産学連携・研究推進部門)、
大学事務部、病院事務部

戦略②

次世代を担う高いアカデミックマインドを持った若き医療人の育成

戦略目標(KGI)

- 大学院教育の充実
- 若手研究者間の交流の促進
- 若手研究者の研究活動の活性化

業績評価指標(KPI)・
目標数値

- 大学院の入学者数
医学研究科：1年目より増加
薬学研究科・看護学研究科・医療科学研究科：
定員の充足
- 学位取得率
(神戸キャンパス3学部：3年、医学部：4年の間)
1年目より増加
- 学内セミナー・講演会での発表者・参加者数
5年目で1年目の10%増
- 若手海外発表研究助成 採択者数
5年目で1年目の10%増

実行施策

- 独創性豊かな若手研究者を
惹きつける場を創出する
- 連携(産学連携、大学間、講座・医局間など)
の場を通じて若手研究者の教育を行う
- 大学院教育の充実に繋がる施策を実施する
(研究・産学連携面のカリキュラムの改善、
世界的に著名な先生の講演の実施など)
- 研究推進WGを通じて
研究支援のあり方の検討を行う
- 女性やライフイベント中の研究者など
多様な人材の研究力向上を目的とした
研究助成や各種支援を実施する

実行部署

学部、社会学連携・研究推進センター(産学連携・研究推進部門)、
大学事務部

戦略③

独創的な学術研究を追求するための研究基盤の充実

戦略目標(KGI)

- 戦略的な機器購入・更新と共同施設の利用促進
- 研究支援組織の充実
- 臨床データの研究への活用のし易さ

業績評価指標(KPI)・目標数値

- 共同利用研究施設・病態モデル研究センター・臨床研究支援センターの利用件数
5年目で1年目の10%増
- アンケートを基にした研究者の満足度(各施設の使い易さ、機器の充実度など)
満足度の向上

実行施策

- 戦略的・長期計画的に研究機器の拡充を図る
- 研究環境における課題抽出と対応策の企画・立案を行う
- 外部機関との連携を見据えた医療データの利活用のための基盤整備を行う
- 女性やライフイベント中の研究者など多様な人材の研究力向上を目的として研究環境を整備する
- 研究支援の人的な整備の充実を図る

実行部署

学部、社会学連携・研究推進センター(産学連携・研究推進部門)、共同利用研究施設、病態モデル研究センター、臨床研究支援センター、情報センター、産学連携・研究推進部門、ダイバーシティ推進室、大学事務部、病院事務部、財務企画部

診療

戦略①

質の高い医療の実現

戦略目標(KGI)

- 臨床評価指標の向上と活用
- 多職種連携の強化
- 教育体制の充実

業績評価指標(KPI)・
目標数値

- クオリティインディケーター各項目数値
 - クオリティインディケーターに基づく改善に向けた検討取組数10項目以上
 - クオリティインディケーターの実情を踏まえた項目の見直し(一減一増)
 - インシデントレポート件数 30%増加
- 専門性の高い従事者数
 - 各種資格(専門医含む)取得者10%増加
- 多職種専門チームの活動数値
 - チーム活動数10%増加

実行施策

- 多職種協働による医療の質の向上に向けたPDCAサイクルの実施
- 医療の質可視化プロジェクトの推進
- インシデントレポートの意義の周知と医師・事務職への啓発
- 自己研鑽の機会提供と資格取得に向けた財政的支援の拡充
- 資格取得プログラムの拡大
- 臨床研究支援プログラムの充実

実行部署

兵庫医科大学病院(診療部・中央診療施設・中央部門)、ささやま医療センター、梅田健康医学クリニック、病院事務部、篠山事務部、総務部(梅田事務課)

戦略②-1

新病院棟建設の推進と財務基盤の確立

西宮

戦略目標(KGI)

- 新病院棟建設計画の着実な実行
- 医療、介護等の収益増加
- 合理的かつ効果的なPFM (Patient Flow Management)の実現
- 患者満足度の向上

業績評価指標(KPI)・目標数値

- 新病院棟計画達成率
 - 建設計画: 2025年9月末時点 100%
 - 移転計画: 2026年5月末時点 100%
- 新患者
 - 2019年度実績から10%増加
 - *コロナ禍を考慮し2019年度実績を基準とした
- 外来、入院患者満足度
 - 2022年度実績から10%数値改善

実行施策

- 投資額、費用のコントロール
- 各種更新計画の策定
- ベッドコントロールの運用体制の再構築
- 新たなPFMの取り組みの立ち上げ
- 渉外活動の活性化によるかかりつけ医との顔の見える関係の構築
- 患者満足度向上のためのPDCAサイクル実施 (アドバンス・ケア・プランニング: ACPの実践など)
- 接遇研修の実施

実行部署

兵庫医科大学病院(診療部・中央診療施設・中央部門)、新病院準備室、病院事務部、財務企画部

戦略②-2

新病院棟建設の推進と財務基盤の確立

篠山

戦略目標(KGI)

- 医療、介護等の収益増加
- 合理的かつ効果的なPFM (Patient Flow Management)の実現
- 患者満足度の向上

業績評価指標(KPI)・目標数値

- 新患者
 - 2019年度実績から10%増加
 - *コロナ禍を考慮し2019年度実績を基準とした
- ケアサイクル患者数
 - 2019年度実績から5%増加
 - *コロナ禍を考慮し2019年度実績を基準とした
- 運営費補助金
 - 2022年度実績から50%増加
- 患者満足度調査結果
 - 2022年度実績から10%数値改善

実行施策

- 渉外活動の活性化によるかかりつけ医との顔の見える関係の構築
- 患者満足度向上のためのPDCAサイクル実施 (アドバンス・ケア・プランニング:ACPの実践など)
- 介護医療院の検討
- 外来機能の強化(看護外来の新設、外来経由入院患者数の増加)
- 介護事業所、訪問看護との連携強化
- 強化型在宅療養支援病院の維持
- 在宅医療の拡充(部門設置等)
- 行政との連携強化 (運営費補助金の拡充に係る継続した交渉)
- 接遇研修の実施

実行部署

ささやま医療センター、篠山事務部

戦略②-3

新病院棟建設の推進と財務基盤の確立

梅田

戦略目標(KGI)

人間ドック、企業健診、クリニック等の
収益増加

健診から受診へのPFM
(Patient Flow Management)の実現

患者満足度の向上

業績評価指標(KPI)・
目標数値

新規受診者数	
人間ドックリピート率	75%
人間ドック、健診からの要精密検査での クリニック外来紹介、受診率	
10%	
外来患者	1日120名
内視鏡検査	1週150件
受診者満足度調査結果	
2022年度実績から10%数値改善	

実行施策

新規コースやオプションの設定

満足度調査の適正な実施及び結果の分析

接遇研修の実施

実行部署

梅田健康医学クリニック、総務部(梅田事務課)

戦略③

地域及びキャンパス間における連携体制の強化

戦略目標(KGI)

地域の医療機関や介護施設との連携強化

キャンパス間の連携体制強化

業績評価指標(KPI)・
目標数値

紹介件数・逆紹介件数
西宮・篠山: 2019年度実績から10%増加
梅田: 紹介率・逆紹介率とも45%
返書件数
西宮: 平均返書回数2回以上、返書率 90%以上
篠山: 2019年度実績から10%増加
救急受け入れ件数
西宮・篠山: 2019年度実績から10%増加
キャンパス間の紹介件数
西宮⇄篠山: 2019～2021年度の平均から30%増加

実行施策

西宮
オンライン予約体制の構築
渉外活動の活性化
かかりつけ医との顔の見える関係の構築
医師会、保健所、消防本部との連携強化
医療関連セミナー等開催
病診、病病連携の会の復活
篠山
医師会、保健所、商工会、消防本部、 介護事業所等との連携強化
篠山独自の採用医師確保に向けた体制整備
事務職員を含む看護師、コメディカル 適性数配置(篠山採用者)
梅田
オンライン予約体制の構築
渉外活動の活性化
全体
キャンパス間の医師派遣体制の見直し

実行部署

兵庫医科大学病院(診療部・中央診療施設・中央部門)、
ささやま医療センター、梅田健康医学クリニック、
病院事務部、篠山事務部、総務部(梅田事務課)、人事部

戦略④ 新たな働き方の推進

戦略目標(KGI)

- 業務の平準化と見直し・効率化の推進
- 職員満足度向上
- 職種横断的な業務への関与の実現
- VUCA時代に対応するワークライフバランスの確立

業績評価指標(KPI)・目標数値

- 職員満足度調査結果
ポジティブ評価 40%以上
- タスクシフト／シェアの項目数
職種間で5項目以上増加(1項目/年)
部門間で5項目以上増加(1項目/年)

実行施策

- 多職種連携による業務の効率化
- デジタルトランスフォーメーション推進
- 人財の多能化、多役化推進
- 会議時間、開催方法の再考
- 職員満足度調査の定期的な実施
- モラルサーベイの実施
- フリーアドレス化を見据えた業務整理と紙資料の撤廃

実行部署

兵庫医科大学病院(診療部・中央診療施設・中央部門)、ささやま医療センター、梅田健康医学クリニック、病院事務部、篠山事務部、総務部(梅田事務課)、人事部

社会貢献

戦略① リカレント教育・生涯学習・ダイバーシティ推進の機会の提供

戦略目標(KGI)

多彩な社会貢献の実践

業績評価指標(KPI)・
目標数値

医療用シミュレータ利用件数

2023年度を基準に2027年度に10%増

講座・セミナー参加者数
(医療専門職者向け講座・セミナー、
市民健康講座や高大連携など)

2023年度を基準に2027年度に10%増

実行施策

医療用シミュレータの利用・貸出

セミナーのWEB開催など
ICTツールの活用

医療専門職者への
リスキリング・リカレント教育の機会提供
(大学・大学病院による講座・セミナーなど)

生涯学習の機会提供
(市民健康講座や高大連携など)

実行部署

学部、兵庫医科大学病院(診療部・中央診療施設・中央部門)、
社会学連携・研究推進センター(産学連携・研究推進部門)、
ダイバーシティ推進室、大学事務部、病院事務部

戦略②

研究成果のアウトリーチ活動強化

戦略目標(KGI)

研究成果や研究活動の認知度向上

自治体・産業界との連携強化

業績評価指標(KPI)・
目標数値

研究分野のニュースリリース件数
5年目で1年目の10%増

地域プロジェクト実施件数
5年目で1年目の10%増

新たな地域プロジェクトの
立ち上げに向けたアプローチ
5年目で1年目の10%増

実行施策

統括部署への情報集約のルール整備

執筆活動やメディアへの寄稿

自治体との連携プロジェクトに向けた
意見交換、自治体へのプロジェクト提案

実行部署

学部、社会学連携・研究推進センター(産学連携・研究推進部門)、
大学事務部、産学連携・研究推進部門、総務部(広報課)

戦略③ 地域における災害拠点病院機能の充実

戦略目標(KGI)

災害時の傷病者等の受入・搬出体制の確立

業績評価指標(KPI)・
目標数値

災害時を想定した体制整備・訓練・情報発信の
計画進捗率

2027年度に進捗率 100%達成

多数傷病者受け入れ訓練 実施件数

行政と連携した訓練 2年に1回
病院内での訓練 1年に1回

実行施策

BCP(事業継続計画)策定・改訂

災害時の体制整備

多数傷病者受け入れ訓練の開催

実行部署

兵庫医科大学病院(診療部・中央診療施設・中央部門)、
新病院準備室、病院事務部



学校法人 兵庫医科大学